



会津美里の新たな名所に 地元産ブドウのワイナリー

合同会社 会津コシエル

こぼやし しょうたろう
小林 章太郎さん

地域おこし協力隊

かんけ ま み
菅家 真実さん

磐梯山や会津盆地を望む、なだらかな丘陵地帯に、ブドウ畑が広がる会津美里町新鶴地区。その場所に今年「新鶴ワイナリー」がオープンします。運営を手がけるのは「合同会社会津コシエル」業務執行社員の小林章太郎さん、会津美里町地域おこし協力隊の菅家真実さんたち。数年前からオリジナルの赤ワインを委託醸造する中で地域の実情を知り、自分たちの手でワイン作りをする道を選びました。

「新鶴地区は高齢化による過疎や耕作放棄地の増加という、地域の課題に直面しています。せっかくの景観の良さを守るためにも、この場所を生かした取り組みが必要だと感じました」

まずは1ヘクタールほどのブドウ畑を借り受け、ボランテアを募って苗植え。栽培農家の指導を受けながら、自分たちの手でブ

知事表彰式 (県庁応接室)



選手の皆さんが今後、それぞれの目標に向かって活躍されることを期待します！

全国都道府県対抗男子駅伝で、本県チームが初優勝しました。私も移動中の車内で興奮しながら応援していました。特にアンカーの相澤選手がゼッケンに記された「福島」の文字を突き出すようにしながらゴールした瞬間は、思わず涙腺が刺激されるほど感動しました。

選手の皆さん、監督やコーチ、関係者の方々がオール福島でベストを尽くした結果であり、県民の皆さんに大きな勇気と感動を与えてくれました。

vol.9

知事 だより

知事の活動を伝える
コーナー！



全国都道府県対抗男子駅伝
福島県チームに対して、
知事表彰を行いました。



和食にも合う
ライトな味わいを
イメージしました



▲ 収穫したブドウをタンクで発酵させたら瓶詰め。
ワインのほか、会津美里町産のリンゴを使ったシードルも製造する。



▲ 醸造所の中の様子は上部から見学できるような設計に。
ワイン作りをより身近に感じることができる。



ドウを育てました。醸造は猪苗代町の「ホンダワイナリー」で研修し、いちから学んだそう。そのかいあって、無事に今年1期目の醸造がスタート。ワインはブドウの出来がそのまま酒質に反映されるため、その年、その土地だけの味わいを楽しんでもらえるのが面白さだと言います。

「初の試みですから、評価されるのはまだまだ先でいいと思っています。この町のみんなで育ててもらえたら」

現在、5月初旬のオープンに向け、町内にある「ふれあいの森スポーツ公園」内の休憩所を、テイスティングカウンター兼醸造所として改修中。年内にはレストランも併設し、新たなにぎわいの拠点となることを目指しています。

「ワイナリーは農業と製造、観光とさまざまな要素を兼ね備えた施設です。これから100年後も続いていく、次世代に残せる場所になれるように頑張ります」

【問い合わせ先】
新鶴ワイナリー
☎0242(23)9899

国外や県外出身の人から見た福島を知るコーナー。
第10回は、特別養護老人ホームかわうちで働いている看護師の松元さんです。

温かい人柄と豊かな自然に感動!

福島人はシャイですが、仲良くなるとすごく打ち解けてくれますね。川内村の皆さんは料理がとても上手で、漬物などをたくさんもらいます。私が特に好きな「いかにんじん」は、作る人によって少しずつ味が違うのも楽しいです。

自然がとても豊かなので、休日に何でもないような川や田んぼの周りを歩いて癒やされています。春は山登りに行きたいですね!



仕事終わりに
同僚とバレーボール

外から見た福島のイイトコロ教えます
ふくしま

二重マル

お花見も楽しみの
夏井千本桜に
行ってみたい!

まつもと かな
松元 加奈さん
(東京都出身)